令和7年6月25日（水曜日）

予算決算委員会全体会

議会会議室

出席委員

委員（44人）

欠席委員

阿山正人

予算決算委員会付託議案

・議案第65号 令和7年度姫路市一般会計補正予算
（第1回）

再開

9時55分

分科会長報告について

9時55分

文教・子育て分科会長報告

議案第65号、令和7年度姫路市一般会計補正予算（第1回）のうち、文教・子育て分科会関係については、子どもの学校改革応援事業についてであります。

本補正予算は、令和6年度に実施した子どもの学校改革応援事業に係るクラウドファンディングにおいて、当初の見込みを上回る124件、707万7,500円の寄附があったため、小学校費、中学校費をそれぞれ増額補正するものであります。

分科会において、寄附の使い道として、学校からの提案を踏まえ、空き教室を子どもたちがいきいきと活動できる空間とするリノベーションが挙げられているが、このたびの寄附額で各学校の希望を全て実現できるのか。

また、令和7年度は市内全ての小中学校から提案を募りクラウドファンディングを実施するとのことであるが、令和6年度と同じように支援先の学校を指定することはできるのか、との質問がありました。

当局の答弁によりますと、各学校の希望の全てを実現することは難しいものの、想定以上の寄附があったことから予算の増額補正により、寄附額の範囲内でできる限り希望に沿うようリノベーションを実施したい。

また、令和7年度に実施するクラウドファンディングにおいては、地域間で過度な競争が生じないように支援先の学校を指定せず一つのプロジェクトとして寄附を募りたい、とのことでありました。

厚生分科会長報告

議案第65号、令和7年度姫路市一般会計補正予算

（第1回）のうち、厚生分科会関係については、休日・夜間急病センター診療システム改修事業費についてであります。

同システム改修は、令和6年度の年末年始に姫路市休日・夜間急病センターの利用が集中し、受診や会計に際して相当な待ち時間を要したことを受け、待ち時間の短縮につながる電子カルテの導入等を行うもので、約2,500万円が予算計上されております。

分科会において、令和7年度の年末年始も混雑が予想されるが、電子カルテの運用をいつから開始しようと考えているのか、との質問がなされました

当局の答弁によりますと、令和7年8月にシステム改修を行った後、準備期間を設け、遅くとも11月には電子カルテの運用を開始したいと考えている、とのことでありました。

これに対して、委員会から、本委員会といたしましては、準備期間を有効に活用して同センターで勤務する医師等が新システムに十分適応できるような訓練を実施し、混雑時においても体調が悪い急病患者等を長時間待たせることのないようスムーズな診療体制を確保されたい、との意見がありました。

総務分科会長報告

本分科会に送付されました、議案第65号、令和7年度姫路市一般会計補正予算（第1回）のうち、財政局所管分について、6月19日に分科会を開催し、委員に意見を求めましたところ、質疑はなく終了いたしました。

分科会長報告に対する質疑

10時03分

質疑なし

付託議案審査について

10時04分

・議案第65号については、全会一致で可決すべきものと決定。

委員長報告について

10時05分

・正副委員長に一任することに決定。

令和7年度姫路市一般会計補正予算（第2回）について

10時06分

財政局

10時06分

説明

・令和7年度姫路市一般会計補正予算（第2回）

質問

10時07分

質問なし

財政局終了

10時07分

こども未来局

10時07分

説明

・令和7年度姫路市一般会計補正予算（第2回）

質問

10時12分

質問なし

こども未来局終了

10時12分

観光経済局

10時12分

説明

・令和7年度姫路市一般会計補正予算（第2回）

質問

10時19分

（質問）

海外展開支援事業負担金の増額による出展枠の拡充について、海外市場向け商談会「沖縄大交易会」において対象者を食品関連事業者に限定しているのはなぜなのか。

（答弁）

「沖縄大交易会」は、出展に当たりJETROのサポートを受けることができ、そのため、商談の成約率が非常に高い商談会である。当交易会は食品関係の展示会であるため、事業者を食品関連事業者に限定している。

（質問）

プレミアム付き商品券事業の拡大について、発行数を46万セットから55万セットに拡充するのは、なぜなのか。

（答弁）

長期化する物価高騰の影響を少しでも和らげようという趣旨から、一般枠、シルバーデジタル応援枠、子育て応援枠からなる申込枠を設け、デジタル商品券の発行数を拡充し、地域経済の活性化や市民生活の支援をするものである。

（質問）

購入対象者をマイナンバーカード保有者に限定しているのは、なぜなのか。

（答弁）

市としてマイナンバーカードを普及させ、それを活用して様々なシステムを構築していこうとしている。

マイナンバーカードを保有していない人には、これを機会に取得してもらおうという趣旨である。

観光経済局終了

10時24分

教育委員会

10時24分

説明

・令和7年度姫路市一般会計補正予算（第2回）

質問

10時30分

（質問）

このたびの整備内容の変更は、児童生徒数の推計を踏まえたとのことであるが、設計当初は把握できなかったのか。

（答弁）

当初は2030年までの児童生徒数の推計を踏まえており、荒川校区においては2030年以降も同様に増加していくという見込みであったが、新たな2050年までの推計によりその数が高止まりすることが数字として見えてきたものである。

（質問）

整備内容を変更するという判断はいつ行われたのか。

（答弁）

令和7年度の予算編成過程において、建築工事費の上昇による事業費の拡大を抑えるために、規模だけでなく構造や工法などあらゆる方向から検討を行った。

令和7年度当初から事業者と協議を重ね、最終的に四階建てから三階建てに変更が可能なこと、設計変更の対応も可能なことが分かったのは、令和7年6月に入ってからである。

（質問）

近年、本市の建設工事は入札不調となるものが多いが、適正な事業費を見込み、事業を進めることはできるのか。

（答弁）

近年の入札不調事案の多さについては把握している。今後、変更後の規模で設計を進め、市場価格との乖離がないよう、しっかりと事業費の積算を進めていきたい。

(質問)

当初、普通教室が1学年4クラスであったものを3クラスに変更することである。

現在の1クラス35人学級から将来的に30人程度の少人数学級となった場合でも対応ができるという判断なのか。

(答弁)

35人学級から30人学級となった場合、クラス数が増える学年が発生する可能性はある。その場合は、校舎内にある幾つかの多目的教室で対応していくことになる。

(質問)

設計変更に要する経費として、5,000万円を増額補正するものであるが、構造計算の変更が必要だとしても高額なのではないのか。

工事に係る概算事業費の削減見込みについても疑問があるため、併せて説明してもらいたい。

(答弁)

令和7年8月末までの設計委託契約であり、建築確認申請前の段階まで設計が進んでいる。その中での変更のため、手戻りを設計業者に依頼することとなった。既存図面の流用はできるものの、一定程度の図面を新たに作成する必要がある、協議の上、このたびの補正額を計上している。

工事に係る概算事業費の削減については四階建てを三階建てに変更するのだから、もう少し削減できるのでは、との声もあろうかと思うが、現時点での見込みの削減について示している。

今後の設計の中で、できる限り事業費を見積もり直していきたいと考えている。

(意見)

5,000万円の補正額については、今後の決算審査の段階などで確認させてもらいたい。

(質問)

今回整備する小学校にエレベーターは設置されるのか。

(答弁)

設置する。

教育委員会終了

10時38分

閉会中継続調査について

10時38分

・別紙のとおり閉会中も継続調査すべきものと決定。

正副委員長退任挨拶

10時39分

閉会

10時42分